

たかおか

市議会 だより



家持くん 利長くん

け あらし
気嵐が立ち上がる雨晴海岸

写真提供：伏木写友会

No.29 12月定例会号
平成25年(2013年)2月1日発行

12月定例会のあらまし	2P
新しい議会の構成	5P
個別質問	6P
総括質問	10P
議会基本条例・議員政治倫理条例	11P
委員会の動き	12P

編集■議会広報編集委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

補正予算・条例など

42議案を認定・可決・承認・同意

議会基本条例及び

議員政治倫理条例を可決

12月定例会は3日に開会し、17日まで開かれました。初日には、継続審査となっていた平成23年度決算などの4議案を可決・認定しました。

また、市長から平成24年度補正予算をはじめ33議案が、議員から議会基本条例や議員政治倫理条例などの5議案が提出され、最終日に、全議案を可決・承認・同意しました。

今定例会では、個別・総括質問に10人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

**認定・可決・承認・同意
した主な議案等**

条例

○市長提出議案

■証人等の実費弁償に関する条例の一部改正

地方自治法の改正に伴い、同法を引用する条項の整理等を行うもの。

■市税賦課徴収条例の一部改正
地方税法の改正等に伴い、所要の改正を行うもの。

■手数料条例の一部改正
都市の低炭素化の促進に関

する法律の施行に伴い、所要の改正を行うもの。

■保育所条例の一部改正
おぜ保育園を廃止するほか、中曽根土地地区画整理事業の換地処分に伴い、牧野みどり保育園の所在地番を変更するもの。

■ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正
児童扶養手当法施行令の改正を踏まえ、ひとり親家庭等医療費助成制度の対象を拡大するもの。

○議員提出議案

■議会基本条例
市民の代弁者として、二元



さらなる耐震化の推進を 横田小学校

代表制の一翼を担う議会が、執行機関と緊張感を保ちながら、市の発展を目指し、努力するため制定するもの。

■議員政治倫理条例
議員の政治理念のより一層の向上に努め、市民に信頼される市議会づくりを進め、もって市政の健全な発展に寄与すること目的とし制定するもの。

■政務調査費の交付等に関する条例の一部改正
地方自治法の一部改正に伴い、政務調査費を政務活動費に改めるなど所要の改正を行うもの。

その他

■指定管理者の指定について
伏木児童館、野村児童セン

議決結果一覧

継続審査となっていた議案

その他

◇平成23年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
..... 全会一致で可決

◇平成23年度工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
..... 全会一致で可決

認定《平成23年度決算》

◇企業会計
..... 全会一致で認定

(高岡市民病院事業会計) 全会一致で認定

(水道事業会計) 全会一致で認定

(工業用水道事業会計) 全会一致で認定

(簡易水道事業会計) 全会一致で認定

◇一般会計・特別会計
..... 賛成多数で認定

(一般会計) 賛成多数で認定

(国民健康保険事業会計) 賛成多数で認定

(下水道事業会計) 賛成多数で認定

(荻布奨学金事業会計) 全会一致で認定

(駐車場事業会計) 全会一致で認定

(工業団地造成事業会計) 全会一致で認定

(農業集落排水事業会計) 賛成多数で認定

(介護保険事業会計) 賛成多数で認定

(後期高齢者医療事業会計) 賛成多数で認定

初日提出議案

平成24年度 補正予算

◇一般会計 全会一致で可決

◇下水道事業会計 全会一致で可決



復旧が急がれる豪雨被害

ター、福岡鯉の里公園、里山交流センター、まちづくり福岡工房、SOHO事業者支援オフィス、二上まなび交流館など14施設について指定管理者を指定するもの。

■**工事請負契約の締結**

①高岡西部総合公園野球場新築工事
 契約金額 18億6585万円

②高岡西部総合公園野球場新築機械設備工事
 契約金額 2億423万円

③高岡西部総合公園野球場新築電気設備工事
 契約金額 3億3075万円

いずれも生涯スポーツの振興と都市緑化の推進を図るため、本市におけるスポーツ・レクリエーションの中核拠点

施設として整備する高岡西部総合公園に野球場を新築するもの。

■**小矢部市のごみの焼却処理に関する事務の委託に関する協議について**

小矢部市及び同市の許可業者が搬入するごみの焼却処理に関する事務を受託するもの。

期間 平成25年4月1日
 ～27年3月31日

■**専決処分**

平成24年12月16日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費の予算補正を専決処分したもの。

報告

■**専決処分の報告**

平成24年12月16日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費の予算補正を専決処分したもの。

人事

※全て再任

■**人権擁護委員**

基峰 節子氏 (角)
 津幡 敬子氏 (野村)

選挙

■**庄川左岸水害予防組合議会議員補欠選挙当選人**

金森 一郎議員

■**高岡地区広域圏事務組合議会議員補欠選挙当選人**

青木 紘議員

山沼 茂敏議員

■**砺波地方衛生施設組合議会議員補欠選挙当選人**

青木 紘議員

■**富山県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙当選人**

曾田 康司議員

補正予算の概要

・一般会計(補正額)	51億5,958万円
《主な事業》	
高岡駅周辺地区整備事業	14億4,560万円
北陸新幹線対策事業	10億7,300万円
小学校施設耐震化事業	12億8,039万円
豪雨災害復旧事業	1億6,396万円
北陸自動車道新IC整備事業	9,000万円
《*債務負担行為の設定》	
・一般会計	
北陸新幹線対策事業	
城端線新駅整備事業補助金	
期間 平成25～27年度	限度額 2億4,600万円
城端線新駅東西自由通路工事委託	
期間 平成25～26年度	限度額 2億9,000万円
・特別会計	
下水道整備事業	
期間 平成24～25年度	限度額 9,000万円

条例

- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇工業用水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇簡易水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇証人等の実費弁償に関する条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市税賦課徴収条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇手数料条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇保育所条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正……………全会一致で可決

その他

- ◇指定管理者の指定について(14件)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(高岡西部総合公園野球場新築工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(高岡西部総合公園野球場新築機械設備工事)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(高岡西部総合公園野球場新築電気設備工事)……………全会一致で可決
- ◇小矢部市のごみの焼却処理に関する事務の委託に関する協議について……………全会一致で可決

報告

- ◇専決処分(平成24年度一般会計補正予算)……………全会一致で承認

最終日追加提出議案

平成24年度 補正予算

- ◇一般会計……………賛成多数で可決

*債務負担行為：歳出予算の金額、継続費の総額又は繰越明許費の金額に含まれているものを除く、予算で定められた将来にわたる地方公共団体の債務を負担する行為をいう。

議会日誌

9月定例会後～12月定例会前

- 9月26日 議会広報編集委員会
- 27日～28日 新幹線・公共交通対策特別委員会行政視察
- 10月 3日 議会広報編集委員会
- 15日 建設水道常任委員会
- 18日 経済消防常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
- 25日 民生病院常任委員会
- 26日 議会改革検討委員会
- 11月 6日 代表者会議
- 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 8日 決算特別委員会
- 水道病院決算特別委員会
- 9日 決算特別委員会
- 水道病院決算特別委員会及び現地視察
- 12日 決算特別委員会現地視察
議会運営委員会
- 13日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 14日 総務文教常任委員会
新幹線・公共交通対策特別委員会
- 20日 経済消防常任委員会
- 21日 建設水道常任委員会
- 26日 代表者会議
議会運営委員会
- 27日 民生病院常任委員会
- 28日 正副常任委員長会議

12月定例会

- 12月 3日 議会運営委員会
議員協議会
本会議（提案理由説明）
議案説明会
- 6日 議会運営委員会
本会議（個別質問）
- 7日 本会議（個別質問）
- 11日 総括質問
- 12日 代表者会議
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 13日 議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
委員長会議
- 17日 議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）
建設水道常任委員会
議会運営委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
港湾対策特別委員会
新幹線・公共交通対策特別委員会
歴史文化・広域観光対策特別委員会
議会広報編集委員会

会派構成変更のお知らせ

議員の会派間異動により、会派構成が次のとおりとなりました。（平成24年12月17日現在）

※議席順

■自民党議員会（11人）

永森 茂
酒井 立志
狩野 安郎
川島 国
高島 義一
梅田 信一
青木 紘
荒木 泰行
館 勇将
山沼 茂敏

■自民クラブ（8人）

曾田 康司
水口 清志
盤若 進二
大井 正樹
二上 桂介
磨伊 義広
大井 弘
柳清 利勝

■社民党議員団（3人）

石須 大雄
上田 武
島村 進

■公明党（2人）

吉田健太郎
樋詰 和子

■日本共産党（2人）

南部 周三
金平 直巳

■民主クラブ（2人）

中山 欣一
四十九清治

■政峰会（1人）

金森 一郎

人事

議員提出議案

- ◇人権擁護委員の推薦（2件）……………全会一致で同意
- ◇議会基本条例……………全会一致で可決
- ◇議員政治倫理条例……………賛成多数で可決
- ◇市議会会議規則の一部改正……………全会一致で可決
- ◇市議会委員会条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇政務調査費の交付等に関する条例の一部改正……………全会一致で可決



家持くん 利長くん

議会の新しい構成決まる

12月定例会初日の3日に、議長の辞職に伴う選挙を行い、最終日の17日に、副議長の辞職に伴う選挙を行いました。

また、常任委員会の所属変更、議会運営委員会・特別委員会等の委員を選任し、議会諸役員を改選しました。

議長に 大井 弘氏
副議長に 酒井立志氏



大井議長

酒井副議長

新議長、抱負を語る

「3年後に迫った北陸新幹線の開業に向けた高岡駅や新幹線新駅周辺整備については、本市の最重要施策であり、市民の意見に耳を傾けながら、これらの施策が迅速に進むよう努力していきたい。また、産業、農林水産業、商業の振興などに経済界の皆さまや市当局と共に誠心誠意取り組み、全国から若者が集うにぎわいのある高岡を創出し

たい。さらに、12月定例会で制定された議会基本条例及び議員政治倫理条例に基づき開かれた議会運営に努めていきたい。」と就任に当たり、大井議長が抱負を語る。

大井議長 議長、副議長、議会運営委員長、総務文教・経済消防・建設水道各常任委員長などを歴任。

酒井副議長 経済消防常任委員長、決算特別委員長、建設水道常任委員会副委員長などを歴任。

副委員長などを歴任。

<p>建設水道常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎石須 大雄 ○水口 清志 中山 欣一 高島 義一 盤若 進二 荒木 泰行 樋詰 和子 	<p>経済消防常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎永森 茂 ○金森 一郎 狩野 安郎 舘 勇将 金平 直巳 二上 桂介 大井 弘 	<p>民生病院常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎曾田 康司 ○吉田健太郎 梅田 信一 島村 進 青木 紘 大井 正樹 山沼 茂敏 	<p>総務文教常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎川島 国 ○四十九清治 酒井 立志 上田 武 南部 周三 島 起也 磨伊 義広 柳清 利勝 	<p>議会運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎高島 義一 ○水口 清志 曾田 康司 上田 武 四十九清治 狩野 安郎 金平 直巳 樋詰 和子 二上 桂介 島 起也
<p>議会広報編集委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎狩野 安郎 ○曾田 康司 吉田健太郎 中山 欣一 永森 茂 金森 一郎 石須 大雄 水口 清志 南部 周三 酒井 立志 大井 弘 	<p>歴史文化・広域観光対策特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎水口 清志 ○狩野 安郎 金森 一郎 上田 武 青木 紘 盤若 進二 荒木 泰行 樋詰 和子 二上 桂介 	<p>新幹線・公共交通対策特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎磨伊 義広 ○川島 国 曾田 康司 四十九清治 高島 義一 島村 進 舘 勇将 金平 直巳 山沼 茂敏 	<p>港湾対策特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎梅田 信一 ○石須 大雄 吉田健太郎 中山 欣一 永森 茂 南部 周三 大井 正樹 島 起也 柳清 利勝 	<p>◎委員長 ○副委員長</p> <p>※委員長・副委員長 以外は議席順</p>

個別質問

今定例会では、8人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



曾田 康司
自民クラブ

並行在来線の新駅設置

問 並行在来線の新駅設置については、収支の面から高岡・西高岡駅間が有力視されているが、新駅設置に向けた取り組み状況と見通しは。

市長 平成24年6月から取り組んでいる高岡・西高岡駅間の並行在来線新駅立地可能性調査において、23年度に県が調査した新駅収支試算等に対する再検証、新駅の立地適地箇所の選定、本市のまちづくりへの効果に対する検証の三つの課題について調査を進めている。今後は、周辺住民へのアンケート調査等を通じ、24年度中に調査結果をまとめたい。

本市の福祉施策

問 福祉施策について問う。

(1) 住み慣れた地域で、健康に生活を送ることが全ての人の願いであるが、どのように健

康都市を目指すのか。

(2) 新たに整備することになった急患医療センターは、若い子育て世代を中心に改築が切望されていたものだが、その概要と特徴は。

(3) 子育て支援を重要施策としている本市として、子育て支援センターの託児機能の拡充を進めるべきと考えるが、考え方と進め方は。

市長 (1) 全ての市民が心身ともに健康に過ごすためには、市民自らが健康づくりに取り組み、その活動を地域住民やボランティア等が支える地域ぐるみの体制づくりを促進する必要がある。また、スポーツ施設の整備など総合的な健康対策を講じることが重要である。これらの施策を着実に推進し、乳幼児から高齢者まで、全ての市民が健康で自分らしく輝き、元氣と笑顔があふれるまちを目指したい。

福祉保健部長 (2) 鉄筋コンクリート2階建、延べ床面積は現在の約2倍とし、従来からの診察室・処置室・待合室機能を拡充・充実させることにしている。さらに、入り口付



新たな救急診療の拠点施設 新急患医療センター完成予想図

近に隔離診察室を新たに設けるほか、電車通りに面する場所には、(仮称)本丸会館記念ギャラリーを設けることにしている。建物の外観についても、安心感があり、市民に親しまれるデザインとしたい。

(3) 高岡子育て支援センターに託児機能を設置することは、保護者の育児疲れの軽減はもとより、買い物や趣味・娯楽等の利便性も高く、意義がある。今後、設置場所や運営方

法、人材確保等について、本市の子育て支援の拠点施設として、ソフト・ハードの両面から機能の充実が図られるよう検討を進めたい。



中山 欣一
民主クラブ

信頼される自治体経営

問 市民に分かりやすい自治体経営について問う。

(1) 市民に分かりやすい透明性を持った自治体経営をすべきと考えるが、見解は。

(2) 自治体経営には、施策の優先度を勘案したメリハリのあつた事業展開を行う必要がある。平成25年度予算編成をどのような考え方で取り組むのか。

市長 (1) 施策・事業の推進に当たっては、実施状況や成果など各段階で議会への報告や市のホームページや市民と市政等によって市民への情報提供に努めてきた。また、市民から直接話を聞くわがまちトークの開催など、市民の意見を広く取り入れ、今後とも市民に分かりやすい、透明性を持った自治体経営に努めたい。

(2) メリハリのある事業展開という観点からは、事務事業の見直し等の行財政改革を一層

推進するとともに、新幹線開業に向けた社会資本整備の事業など、今の高岡に必要な施策に重点的な予算配分に努めたい。また、持続可能な財政運営の観点からは、税源の涵養に向けて、新産業の創造や企業誘致等、地域経済の活性化につながる施策の実施に努めるとともに、未来の高岡の創造につながる布石となる施策に積極的に取り組むたい。

通学路の除雪対策

問 行政まかせの除雪対策だけでなく、地域住民との連携体制の確立や支援策の構築を図り、住民と行政が一体となつて除雪対策に取り組む必要があると考えるが、見解は。

建設部長 本市では、冬季の通学路を確保するため、小型除雪機を除排雪推進協議会に無償貸与し、自主的な管理運営を行ってもらうなど、地域との連携を図っている。通学路の歩道除雪については、他の自治体も参考にしながら、行政と地域住民との協力体制が誘導できるよう研究したい。

インフルエンザ対策

問 手洗いやうがい等の基本的な感染予防対策の徹底と、様々な広報ツールを活用して早期受診・早期治療などの注

意喚起を行うことが重要と考
えるが、見解は。

福祉保健部長 市民への普及
啓発については、市のホーム
ページや市民と市政、市のツ
イッター等に掲載しているほ
か、ケーブルテレビでの放映
や乳幼児健診等のあらゆる機
会を通じて、保健師がインフ
ルエンザの予防や早期の受診
を呼び掛けるなど、普及啓発
に努めている。



金平 直巳
日本共産党

万全な災害対策

問 災害対策について問う。

(1) 志賀原子力発電所には原子
炉建屋の真下に活断層がある
と指摘されており、県民の不
安を招いている。原子力発電
所再稼働に反対を。

(2) 浸水対策として、住吉ポン
プ場の機能強化は緊急課題だ
が、対応方針は。

市長 (1) 原子力発電所再稼働
には、住民の安全・安心の確
保が最も大切であり、北陸電
力は国の指導のもと、活断層
に関する徹底した調査を行っ
てもらいたい。また、国は調
査結果を踏まえた対応を国民
に十分に説明してもらいたい。

都市整備部長 (2) 豪雨被害を
受けた博労地内の浸水対策と
して住吉ポンプ場の排水機能
の強化を早急に図るため、国
の補助制度を活用しながら施
設整備を行うこととし、平成
25年度には基本設計等を実施
したいと考えている。

いじめ問題の解決に努力

問 いじめ問題の解決のため
に、子どもの命が最優先の原
則の確立、子どもたちの対等
な人間関係を築く力を育てる
こと、厳罰主義でなく加害者
が心から反省する教育、いじ
めを解決する体制の強化、い
じめの深刻化の背景にある問
題の解決を図ること、以上5
点が重要と考えるが、見解は。

教育長 いじめ問題の対策と
しては、まず、一人ひとりの
児童生徒に、いじめは人間と
して絶対に許さないとこの人
権尊重の精神を徹底させるこ
とが重要であると考えている。
このため、各学校では、いじ
めの早期発見・早期対応に努
めている。今後とも、学校・
家庭・地域・教育委員会等が
一体となっていじめ問題の解
決に取り組んでいきたい。

金融円滑化法の延長

問 深刻な経済状況を踏まえ、
金融円滑化法が廃止されると、

中小企業の資金繰りに重大な
支障を来すことから、同法の
延長を国に要請しては。

産業振興部長 平成24年11月
に金融庁は、金融円滑化法の
期限到来後の検査・監督の方
針を発表し、引き続き貸付条
件の変更や円滑な資金供給に
努めるよう促すとしている。
また、これまで以上に、金融
機関が自らのコンサルティン
グ機能を発揮し、中小企業の
経営課題に応じた解決策を、
借り手の立場に立って提案し、
十分な時間をかけ支援するよ
う促すとしている。今後とも、
国や金融機関等の動向を注視
し、県や県内自治体とも情報
交換を行い、中小企業への金
融支援に努めたい。



吉田健太郎
公明党

新たな公共交通対策

問 公共交通に対する市民二
ーズの高まりが予想されるこ
とから、地域バスをはじめと
した交通不便地域への対策を
早急に推進するべきでは。

生活環境部長 本市において
も高齢化は急速に進んでおり、
高齢者の足となる公共交通の
果たす役割はますます重要に

なっている。また、交通不便
地域におけるバスなどの運行
についての要望も受けている。
今後とも、地域バスの導入の
要望がある地域に対して、制
度の紹介や説明を積極的に行
うとともに、バス事業者には、
バス空白地の解消に向けた働
き掛けを行っていきたい。

万葉故地をマラソンで巡る

問 歴史ある高岡万葉マラソ
ンを積極的に町おこしとして
育てていくことについて問う。
(1) 20キロコースではなく公式
記録が残るハーフマラソンを
開催しては。

(2) 北陸新幹線開業記念として、
県ではフルマラソンの開催を



万葉の故地を巡りながら楽しく走る 高岡万葉マラソン

検討しているが、見解は。

教育長 (1) ハーフマラソンの
開催については、コースの設
定などの課題もあるが、少
でも多くの方が、また参加し
たいと感じられる魅力ある大
会となるよう、主催者である
体育協会と協議検討したい。

(2) フルマラソンの開催の要望
や提案は、新元氣とやまスポ
ーツ懇話会において出された
ものと聞いている。今後、県
では、懇話会での意見を受け、
開催に向けてコースの設定や
開催時期などの検討を進め、
懇話会に諮っていきたいとし
ている。また、懇話会では、
高岡市の名所をコースに組み
入れてはといった提案もあっ
たとのことであり、フルマラ
ソンが実施されれば、高岡の
名所がコースに組み入れられ
るよう県に要望していきたい。

地域に息づくネットワーク

問 全市的展開が望まれる高
岡あつまり福祉ネット推進事
業を、平成25年度以降はどの
ように取り組むのか。

市長 高岡あつまり福祉ネッ
ト推進事業を効果的に進める
ため、住民にとって身近な小
学校区を圏域とするともに、
先駆的な地域福祉活動を実施
している3地区をモデル地区
に指定し、その取り組みを参

考にしながら、他の地区へ拡大を図りたいと考えている。今後は、モデル地区の取り組みを踏まえ、他地区においても地域福祉を担う人材の養成を行うとともに、受け入れ体制の整った地区から計画的にネットワークづくりに取り組みんでもらうこととしている。



狩野 安郎
自民党議員会

災害発生時のメール配信

問 ゲリラ豪雨等の災害が発生した際、被害を最小限に食い止めるため、気象情報などをメール配信するシステムを導入すべきでは。

総務部長 災害時には、短時間での初動体制の確立が求められる。メール配信は、情報提供依頼者に対する大雨や洪水情報、その他様々な情報の早急な提供手段として、また、職員のパネル体制を確保するための連絡手段として、災害時には有効であると考えており、今後、導入を検討していきたい。

老朽空き家対策の条例制定

問 老朽空き家が増加し、倒壊などの問題が生じているが、

老朽空き家対策のための条例制定の考えや検討状況は。

市長 高齢化など地域社会の環境変化に伴い、空き家が増加している。中には適正に管理されない老朽空き家もあり、防災上、防犯上、景観等の観点から対策が喫緊の課題であると考えている。その対策としては、所有者等の責務や適正な管理の実効性を担保する手続等を定める条例の制定が有効である。このため、老朽空き家等の適正管理に関する条例を3月定例会で制定できるように検討している。

伏木港の整備

問 大型客船の伏木港への寄港について問う。

(1) 14万トン級の大型客船が安全に接岸できるように、伏木港を整備すべきでは。
(2) 県は、伏木富山港を拠点港に申請した際、伏木地区のコミュニティ施設を国際交流の場として活用する意向を表明しているが、本市として、どのように整備する方針なのか。
建設部長 (1) 伏木富山港が外航クルーズ拠点に選定されたことなどから大型客船の寄港が増えている。平成24年6月には、14万トン級の船が伏木港の万葉3号岸壁に支障なく入港できるか、クルーズ会社



外航クルーズ船の誘致のため、積極的な港湾整備を

が現地視察を行った。この時の指摘に従い、県が現在工事を進めており、14万トン級の客船が寄港できる準備が24年度中に整うことになる。

生活環境部長 (2) 伏木地区に整備するコミュニティ施設は、行政サービス機能、公民館機能、図書館機能に加え、今後、ますます多くの外国人が訪れることから、各種レセプションの開催、港町伏木の歴史・文化の紹介、観光情報の提供等を通じて、多くの人々に国際交流の場としても活用してもらえよう整備を図っていききたい。



上田 武
社民党議員団

災害廃棄物の広域処理問題

問 災害廃棄物の広域処理について問う。

(1) 震災復興が遅れている大きな理由は、復興住宅の建設が進まないことや、それを担当する職員の不足であり、災害廃棄物の受け入れを行っても震災復興の本質の問題解決にならないと思うが、見解は。

(2) 徳島県、新潟県などが、災害廃棄物の広域処理について、健康への安全性が確保できないとして受け入れできないと表明していることは、本市とは正反対の姿勢であるが、具体的にどのようなところに判断基準の違いがあるのか。
(3) 災害廃棄物の試験焼却の測定結果を市民に説明するとしているが、どのような方法で行うのか。

市長 (1) 災害廃棄物の広域処理については、復興に向けた第一歩であり、がれきの広域処理なくして、被災地の新たなまちづくりは進まないと考えている。また、岩手県山田町からも強い要請を受けるとともに、災害廃棄物の広域処

理が進んでいないことから、平成24年8月には、あらためて、広域処理の受け入れについて、環境大臣から富山県知事に対し、協力要請があった。

生活環境部長 (2) 国の示す基準では、安全性が確保できないなどの理由で災害廃棄物を受け入れできないとしている自治体もある。本市では、市民の安心のために、受け入れる廃棄物や埋め立てる焼却灰について放射性セシウム濃度を100ベクレル/kgを超えない基準を設けるとともに、その測定方法など安全確認の仕組みづくりに努めている。

(3) 試験焼却の結果については、市のホームページや市民と市政等を通じて公表するとともに、国や県の協力を得ながら、説明会の開催など、市民に分かりやすく伝える方法等について検討したい。

市民との意見交換

問 わがまちトークの参加者からの意見や要望はどのような内容のものが多かったのか。
市長 意見や要望が多かったものとしては、通学路の安全確保や幹線道路・生活道路など道路整備に関するもの、災害時の避難施設の充実、地震・津波対策、海抜表示など防災対策に関するもの、平成

24年7月21日の豪雨災害を受けて、災害の検証、河川・排水路の整備や管理など浸水対策に関するもの、学童保育など子育て支援に関するもの、空き家対策など地域の課題に関する意見が多かった。



樋詰 和子
公明党

子育て環境の充実

問 子ども・子育て関連3法の対応について問う。
(1)出生率低下への対策として、地方版子ども・子育て会議を設置しては。
(2)共働き家庭の多い本市では、放課後児童育成クラブのニーズが高いが、拡充計画は。



健やかな子どもたちの成長を願って

福祉保健部長

(1)子ども・子育て支援法の成立により、市町村は条例により子ども・子育て会議の設置に努めるものとされている。これを受け、国は平成25年4月に子ども・子育て支援会議を設置し、事業計画に関する基本指針を定め、新制度の制度設計を行う予定である。市も国の基本指針の審議状況を踏まえ、支援会議の設置を検討したい。
(2)クラブ室の拡充については、クラブ室の面積が、現在の国のガイドラインを下回るクラブについては計画的に環境整備を行っていききたい。今後、放課後児童健全育成事業の設備や運営等については、子ども・子育て関連3法による厚生労働省令で基準が示されることとなっており、これを受けて計画の検討を行いたい。

介護保険利用者の負担軽減

問 福祉用具購入費及び住宅改修費は、現在、利用者が一旦費用の全額を事業者へ支払う方式であるが、負担軽減のため、利用者の支払いが1割となる受領委任払制度を導入しては。

福祉保健部長

現在の方式では、利用者から全額負担が困難との相談を受けており、本市も利用者の負担軽減を図る

観点から、受領委任払い方式の検討が必要と考えている。受領委任払い方式の場合には、保険給付の事業者への支給に一定期間を要するため、事業者と十分協議のうえ、理解を得ることが条件となる。今後、事業者との調整を図りたい。

環境クリーン工場の活用

問 平成26年10月の稼働に向けて工事が進められている高岡地区広域圏のごみ処理施設への移行後の現環境クリーン工場の活用計画はどのように考えているのか。

市長

現在の環境クリーン工場は解体するまでの間は、個人や事業所から持ち込まれる可燃物の一時保管場所として利用することとしている。また、同工場の解体後は、引き続き可燃物の一時保管場所として利用していくことや資源物のストックヤードとして利用していくことなど、その活用方法について十分に検討していきたい。



石須 大雄
社民党議員団

津波ハザードマップ

津波からの避難場所や避

難経路などを記載した津波ハザードマップを早急に作成する必要があると考えるが、完成の予定時期は。

建設部長

津波ハザードマップ作成に当たっては、県の津波シミュレーション結果を参考に、避難対象地区や避難場所などの素案を作成している。平成24年12月から対象地区の自治会の代表から意見を聞いており、隣接する射水市とも整合性を図り、24年度中に作成することとしている。

北陸新幹線開業に向けて

問 北陸新幹線開業について問う。

(1)商工会議所や連合自治会は、北陸新幹線の全列車停車を求めているが、本市はどのような対策を講じているのか。
(2)通勤や通学者の費用負担を考えると、並行在来線の運賃値上げは行うべきでないと考えているが、見解は。
(3)道路の橋りょうなどに比べ、鉄橋の耐震化状況について

は、不明な点が多いように思われるが、把握しているのか。

市長 (1)新幹線の停車本数は、期待される乗降客数に比例すると考えている。本市では、乗降客数の増加を喚起し、全列車停車につなげていくため、

城端線新駅の設置等の2次交

通の整備などのアクセス環境の改善に取り組んでおり、歴史まちづくりの推進等の魅力ある資源の活用なども図っている。さらに、市民や市内企業・団体等において、様々な高岡のPR活動が取り込まれることで、官民一体となって、新幹線や新幹線新駅の需要喚起を図っていききたい。

都市整備部長

(2)並行在来線の乗客の利便性を考慮した場合、より安価な運賃体系が望まれる。経営の安定性のためには、一定の収益性を確保する必要もあるが、経営に影響を与えるJR西日本からの鉄道資産の譲渡額が大幅に減額されたことに加え、県が出資額以外の初期投資にも支援することなどにより、当初の見込みより運賃の値上げ幅を抑制できる見通しが立った。開業以降についても、地域が一体となって並行在来線の運営に取り組むことにより、運賃水準の改善が期待されるものと考えている。

(3)県に確認したところ、JR西日本からは、国の基準に基づき、鉄橋は適切に管理していると報告されている。並行在来線会社による運営となっても、国の基準に基づき、適切に管理されていくものと考えている。

総括質問

総括質問は、1人25分の持ち時間で、一問一答方式で行われ、今定例会では、2人の議員が質問に立ちました。



盤若 進二
自民クラブ

並行在来線の利用促進

問 並行在来線会社では、収支均衡のため、運賃の値上げが必要だとされており、利用者の減少が想定される。利用者を増やす斬新なアイデアは、**都市整備部長** 利用促進に向けて、県の経営計画概要では、利用実態に即した運行ダイヤの見直しや朝夕の増便などを検討するとともに、平成25年度には富山県並行在来線対策協議会を発展改組した利用促進協議会を設置し、サポートーズクラブの創設等の利用促進策に取り組んでいくものとされている。

万葉線の活用

問 アイトラムの導入を契機に、直通化や路線の延伸、ICカードの導入など利便性の高い環境整備を含めた万葉線の広域的な未来像を描く必要があると考えるが、見解は。

生活環境部長 新幹線開業に伴い、地域の主要な2次交通として、万葉線の重要性はさらに高まることから、その将来像についても、現在出されている様々な構想の意義と実現性も整理しながら、検討していきたい。

歴史資産の活用

問 歴史都市高岡を活かしながら、御車山・けんか山などの祭りや伝統芸能の地域資源を活かしたイベントの開催を。**産業振興部長** 現在、御車山会館の整備と伏木曳山祭の誘客促進に向けた調査を行っている。これらは新幹線開業後の本市の目玉として、観光客の受け入れ態勢の充実を含め、準備を進めていきたい。今後本市固有の歴史資産や、獅子舞、雅楽などの伝統芸能を活用した取り組みを市民と共に推進していきたい。

若手金工作家への支援

問 地金を溶解するためのキューポラなどが残る金屋町では、金属工芸工房かんかの若手金工作家たちが手狭な作業



若手作家たちが集う金属工芸工房かんか

場で鑄物工芸活動を行っている。手狭な作業場で活動を行っていることから、共同で鑄物製造ができる作業場の対応を検討しては。**産業振興部長** 本市では、工芸作家などの次代を担うクリエイターの創作活動の場である工房開設に対して補助制度を設けており、かんかの若手金工作家たちが鑄物製造等の工房を新たに設ける場合には、同制度による支援をしたい。



島村 進
社民党議員団

地域防災計画の見直し

問 地域防災計画の見直しの意義と目的は。

市長 今回の計画の見直しは、東日本大震災を踏まえ、そこで得られた教訓をはじめ、呉羽山断層帯による地震や津波の発生による被害想定に対応する必要があることなどから、想定される被害の軽減を図り、特に人的被害を減少させることを主眼に改訂した。

原子力災害対策編の改訂

問 原子力災害対策編の改訂に当たっては、総則や目的に当たっては、総則や目的に東京電力福島第一原子力発電所の過酷事故の反省と、同様の過酷事故発生の想定等に即した対策の策定を明記すべきと考えるが、見解は。

市長 国会や政府などの各事故調査委員会でも、複合災害や過酷事象への対策を含む多くの問題が指摘されている。本市としても、国の原子力災害対策指針や県の地域防災計画などを十分に踏まえ、原子力災害対策編の改訂作業を進めたいと考えている。

災害廃棄物の広域処理

問 災害廃棄物の受け入れについては、全国で多くの自治体が否定的な対応をしている。札幌市長は、市民の健康と安全な生活の場の保全が担保されないとして災害廃棄物を受け入れることを拒否しているが、高岡市との判断の相違はどの点にあるのか。

市長 国の示す基準では、安全性が確保できないとして、災害廃棄物を受け入れない自治体があることは承知しているが、市長の責務である市民の安心を守るため、国の示す基準よりも厳しい基準を設け、これに基づき、安全確認の仕組みづくりを努めている。

新幹線開業への取り組み

問 新幹線新駅と現高岡駅とのアクセスの問題を将来的に考えると、この問題は将来的に考えるという姿勢では大きな禍根を残すこととなる。新幹線開業に向け万全を期す決意を含めた見解を。

市長 開業までの期間を最大限活用し、両駅間に鉄道はもとより、バスやタクシーなど多様化するニーズに応えられ移動手段を提供するとともに、乗り継ぎ時間の改善などの課題解決を図り、開業後に向けたまちづくりを進めたい。

市民に開かれた議会を目指して

議会基本条例・議員政治倫理条例を 制定しました

検討の経過

平成23年3月18日、議会改革を推進することを目的とし、各党派の議員11名で構成する議会改革検討委員会が設置されました。議会改革の推進のため、まずは議会基本条例の制定を目指すことが全会一致で了承され、その後、議員の政治倫理については別の条例とし、同時制定を目指すことになりました。

2条例の素案を策定後、市

議会基本条例前文

高岡市議会（以下「議会」という。）は、高岡市長（以下「市長」という。）とともに、高岡市民（以下「市民」という。）を代表する機関であり、二つの代表機関のそれぞれが異なる特性を活かして市民の意思を代弁する責務を負っている。

議会は、市民に対して二元代表制の実効性を高めるため、議事機関として、市議会の責務を常に自覚して最良の意思決定を行うことにより、市民福祉の向上と市政の発展に寄与し、常に地方自治の本旨の実現を使命として活動するものである。

さらに、地方分権の進展に伴う地方公共団体の自己決定権と自己責任の拡大等に対応し、地方公共団体の意思決定、執行機関に対する監視等において、地方議会の果たす役割はますます大きくなってきている。

議会は、先人から受け継いだ歴史や伝統文化を後世に引き継ぐとともに、新たな時代を拓く活力に満ちたまちづくりを進めるため、創意工夫を重ね、公正性・透明性を確保し、行動する議会として、市民とともに地域の主体性を高めなければならない。

よって、ここに、住民自治を推し進め、団体自治を確立する地方自治の本旨に則り、全力をもって市民の負託に応えるため、本条例を制定する。

条例制定までの歩み

平成23年 3月18日	議会改革検討委員会 組織委員会 正副委員長の互選
4月27日～ 11月7日	第1～4回 議会改革検討委員会 議会基本条例の検討
12月13日～ 2月1日	第5～6回 議会改革検討委員会 議会基本条例・議員政治倫理条例の検討
平成24年 2月28日	第7回 議会改革検討委員会 パブリックコメント、市民説明会について
3月13日	第8回 議会改革検討委員会 中間報告案について
3月14日	議会改革検討委員長から議長へ中間報告書の提出
5月7日～ 6月6日	パブリックコメント募集
5月11日	第9回 議会改革検討委員会 市民説明会について
6月4日	市民説明会 (ウイング・ウイング高岡、参加者150人)
8月7日～ 9月4日	第10～11回 議会改革検討委員会 パブリックコメントの回答について
9月6日	パブリックコメント結果・回答の公表
9月13日～ 9月18日	第12～13回 議会改革検討委員会 議員政治倫理審査会について
9月24日	第14回 議会改革検討委員会 条例案の報告について
9月25日	議会改革検討委員長から議長へ条例案の報告書の提出
10月26日	第15回 議会改革検討委員会 条例の今後の検討事項について
12月17日	条例の議決

民の皆さまからご意見を伺う市民説明会を開催するとともに、パブリックコメントを実施し、60件余りの数多くのご意見をいただきました。その内容を踏まえて、さらに検討を重ねた結果、平成24年9月25日、議会改革検討委員長から議長へ条例案が報告されました。

12月定例会では、これらの条例案の審議を行い、議会基本条例は全会一致で、議員政治倫理条例は賛成多数で可決

されました。条例は平成25年4月1日から施行されます。



市民説明会を開催（ウイング・ウイング高岡）平成24年6月4日

条例の概要

議会基本条例

市民と議会と行政の関係のあるべき姿、議会や議員個人としての活動原則などを定め、高岡市議会としての最高規範となる条例です。

条例には新たな取り組みとして、①請願や陳情を審査する委員会を、提出者の意見聴取の機会を設けることができ、市長等の反問を認めること、③議員間の自由討議を行うこと、④広報広聴の充実、⑤総括質問を本会議に位置づけることなどを盛り込んでいます。これら取り組みにより、市民の皆さまの声を市政に反映

議員政治倫理条例

議員の政治倫理に関し必要な事項を定め、市民に信頼される市議会づくりを進めるものです。

政治倫理基準として、議会や議員の品位や名誉を損なう行為をしないこと、市政に対する不正な働き掛けをしないこと、市に対して行う請負その他の契約に関し、調査権・議決権を持つことを自覚し、市民の疑惑を招くことのないようにすることなどを規定しています。

議会基本条例と議員政治倫理条例の全文は市議会ホームページに掲載しています。

委員会の動き

3つの特別委員会は、本市の当面する大型プロジェクトや重要課題に対し専門的に調査活動を行っています。今定例会では、これまでの調査概要の中間報告がありました。

○港湾対策特別委員会

伏木富山港は、平成23年11月に日本海側拠点港としての機能選定を受ける中で、日本の港湾をリードする総合的拠点港にも位置付けられた。伏木外港は、国際物流ターミナルの供用等の港湾基盤の拡充が進む中、外航クルーズ船の拠点として、経済発展する対岸諸国の活力を日本に取り込むゲートウェイとして、さらなる飛躍が望まれている。

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、2月21日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

- 1日(金) 11時 議員協議会
13時 本会議 (市長の提案理由説明)
- 5日(木) 13時 本会議 (追加提案理由説明)
- 6日(木) 10時 本会議 (代表質問)
- 8日(金) 9時 議会運営委員会
10時 本会議 (個別質問)
- 11日(月) 10時 本会議 (個別質問)
- 13日(水) 10時 総括質問
- 14日(木) 10時 民生病院常任委員会
10時 経済消防常任委員会
- 15日(金) 9時 議会運営委員会
10時 建設水道常任委員会
10時 総務文教常任委員会
- 21日(木) 9時30分 委員長会議
10時 議会運営委員会
11時 議員協議会
13時 本会議 (議案・意見書など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

また、24年度には、伏木港初となる外国航路の大型クルーズ船が寄港しており、このような新たな動きを契機とし、国内外の大型客船やRORO船の誘致といったポर्टセールス活動を港湾管理者である県や商工団体等と連携し、強化していく必要がある。

○新幹線・公共交通対策特別委員会

平成24年9月に新幹線新駅舎の工事が着工されるなど新幹線工事は最終局面に入っている。また、新駅周辺整備では一部用地の先行取得のほか、城端線新駅等の整備では、JRと基本協定が締結された。JR高岡駅周辺整備では、人工デッキ等の工事に着手し、並行在来線対策では新駅立地可能性調査を行うなど並行在



1年の防火を願う 高岡市消防出初式

来線開業に向けた動きが本格化している。今後は、高岡駅と新幹線新駅周辺の一体的整備と新幹線開業効果を発揮できる施策が望まれている。万葉線は、待合室の改良やラッピング電車の運行等により、

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
24年 3月	40人	0人
24年 6月	17人	1人
24年 9月	67人	1人
24年12月	22人	0人

- ★編集委員
 ◎狩野、○曾田、吉田、中山、永森、金森、石須、水口、南部、酒井、大井弘
 (◎委員長 ○副委員長)

平成24年は総合計画第2次基本計画の始動の年でありましたが、25年以降も計画に掲げる施策を着実に実行し、市民の皆さんとともに市政の発展に努めていきます。
 (狩野記)

○歴史文化・広域観光対策特別委員会

本市は、平成23年6月に歴史的風致維持向上計画の認定を受けた。今後は、金屋町と山町筋を結ぶルートの整備、高岡御車山会館の建設等、この計画に基づく各事業を着実に進め、歴史都市高岡の確立を目指すとともに、国内外に力強く発信していかねばならない。越中・飛騨観光圏については、24年度に、圏域が有する豊富な観光資源を活用し、周遊プログラムの作成と旅行商品化、それらのプロモーションを行っている。今後は、圏域の特色を活かした各種事業を進めながら、関係自治体等と連携して交通体系

の整備、情報発信、観光客の誘致、滞在促進に取り組まなければならない。

編集後記

12月定例会では、経済対策としての大型補正予算など、市民の皆さんの生活に直結した重要な議案の審査を慎重に行いました。また、開かれた議会を目指して、議会基本条例及び議員政治倫理条例が可決・制定されました。今後も市民の皆さんに信頼される市議会として、公平・公正な議会運営に励んでいきます。

さて、今冬も正月明けより豪雪が出ています。冬季の安全・安心のまちづくり体制の強化をしなければならぬと思っています。

* RORO船：Roll-on/Roll-off船の略。トレーラーなどを自走させ、貨物を直接積み降ろしできるため、輸送コスト削減が図れる。